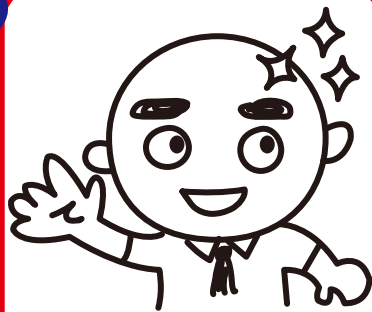


決算
議会

西鉄・JRの駅にホームドアを!

堀内市議が具体的提案でせまる



堀内徹夫
市議会議員

日本共産党

南区民報 議会報告
2016年秋季号外 No.7

堀内徹夫市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をお寄せください。ブログ・フェイスブック・ツイッターはほぼ毎日更新中。「堀内てつお」で検索してみてください!

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627

無料生活相談

- 毎月第2水曜日
- 18時～20時
- 堀内徹夫事務所
南区玉川町6-16 (1階)
☎552-2001
弁護士が来ます。お気軽に!

「**しん赤旗**」を
読みませんか

- 日刊紙/月 3497円
- 日曜版/月 823円
- 申込は ☎526-2133

**転落・接触事故が
5年間で97件も**

ホームドアが全駅に設置されている市営地下鉄では転落・接触事故がゼロなのに、設置されていないJRや西鉄では5年間で97件も市内で起きていることが質問で判明しました。

「西鉄の特急通過駅では、毎日が生死の危険と隣り合わせだ」と告発しました。

**障害者団体の
切実な声伝える**

堀内市議は、障害者団体などからホームドア設置に切実な要望が出されていることを明らかにした上で、車両のド

福岡市議会の2015年度決算特別委員会の総会質疑が行われ、10月6日、日本共産党の堀内徹夫市議は、市内鉄道のホームドアの問題を取り上げました。



堀内質問に注目!

**市「研究し事業者に
要請する」と答弁**

ア数やホームドアの重量などを理由にJRや西鉄が設置を拒んでいることについて、バー方式や軽量タイプのドアが開発され、各地で設置されていることを紹介。

西鉄やJRに踏み込んだ要請をするよう求め、住宅都市局長は「全国的な研究を踏まえ事業者に要請する」と答弁しました。

政務活動費

富山市議会の政務活動(政活)費のデータラメな使い方が話題に。本来、議員のチェック・政策提案能力の向上などに厳しく使い道が決められているものです。

**共産党市議団は
広聴・広報に5割**

福岡市議会では議員1人35万円が支給されており、日本共産党福岡市議団は、政活費の半分を広聴・広報の活動(このピラもその一つ)にあてるなど目的にそって支出。使い道をインターネットで公開しています。

**福岡市でも改革を
すすめてきました**

福岡市議会でもかつて自民党市議が大量の切手購入に使うなど不明朗な使い道が問題に。日本共産党は、くり返し政務活動費の透明性確保と使途の厳格化を求める提案をおこない、改革にとりくんできました。

1円単位での領収書の公開や切手購入時の帳簿作成などが実現しています。

「天神ビッグバン」

**西鉄のために
公園つぶし!?**

「天神ビッグバン」は国家戦略特別区の特例も使いながら、容積率緩和などによって天神地区の30棟の民間ビル建て替えを促進しようとする市の構想です。

レストラン建設

その一環である水上公園(中央区)の改修工事では、都市公園法で公園内施設は公園面積の2%しか許されていないのに、公園の37%も使って西鉄に土地を貸してレストラン建設をさせています。川をはさんだ「西中洲公園」と合算して規制をクリアする「魔法」を使っています。決算特別委員会で共産党が、西鉄には900円/m²で貸しているが、同社がどれだけの利益を得るかたまたすと、市側は西鉄が提出した収支計画書の公表を拒否。高島市政の大企業優遇・利権擁護ぶりが浮き彫りになり、同構想をやめるよう求めました。

共産党が追及

企業・団体献金も政党助成金も受け取らない共産党だから改革できます

学校ウォッチングをもとに 修繕予算要求

市民とともに
施設を調査



老司中にて



長丘小にて



横手中にて

堀内市議と共産党市議団は市民団体のみなさんと市内の学校施設を調査する「学校ウォッチング」とりくみ、数多くの改善をかちとってきました。

8月にも南区内の小・中学校を訪問し、危険・老朽箇所をチェック。学校とも懇談しました。教育委員会と交渉し、改善させます！



野多目小にて

現在エアコンが小中学校の教室に導入されたのに、冬季の暖房使用は認められていません。

日本共産党は9月議会でこの問題を質問。

市長が市内の学校を訪問した際に生徒から暖房使用を要望され「僕もそう思う」「教育長に使用をお願いしたい」と述べたと報道されたことを示し、教育長に要求したのかとただすと、市長は「検討をお願いした」と答えました。

これを受け、共産党が今年の冬から暖房使用を認めるよう求めると教育長は「しっかり検討している」と答弁しました。



教育長「検討している」

市は生活交通支援を



市は「乗り換えろ」というが…

●清水町での乗り換えは交差点を渡り100m歩く(高齢者・障害者に重い負担)

●中尾2丁目→大橋は片道で140円も費用がかさむ



10月6日の決算特別委員会で堀内市議は生活交通確保に向け、市が支援をするよう市長に迫りました。



南区の高齢者世帯などを訪問し、生活交通についての要望などをお聞きするアンケート活動を行いました(9月29日)

「高齢で買い物に行くのがつらい」 「区役所に行く直通バス少なすぎる」

市の支援ない 柏原2丁目

南区の柏原2丁目は坂道が急で最寄りのバス停から遠く、生活交通条例の定める「生活交通不便地に準ずる地域」ですが、「地域主体」での支援の要請が市に出されていないという理由で、市から何の支援もありません。

条例を見直せ

堀内市議は、この地域の高齢化が進み、町内会で月に1回、買い物支援のバスを走らせているが、こうした自主的な努力では対応しきれず、毎日の買い物や病院通いが困難に陥っている実態を告発。

屋形原3丁目でも同様の実態が生まれており、住民待ちの姿勢ではなく、市が積極的に地域に入り声や実態をつかみ、他の地域で行っている循環交通などの支援をすべきで

はないかとただし、条例の見直しも求めました。

乗り換えは 負担が重すぎる

さらに、南区の長住、屋形原、花畑・若久、柏原、皿山地域から、南区役所などの公共施設が集中する大橋地区への西鉄の直通バスが非常に少ない問題をとり上げ、負担の重い乗り換えではなく、直通バスを増便するよう西鉄に求めよと迫り、住宅都市局長は「西鉄へ要望していく」と答弁しました。

コミュニティバスを

区役所など公共施設へのアクセスは住民の権利であるとして、近隣自治体が公共施設を循環するコミュニティバスを走らせていることを紹介。市の責任による地域循環バスの実施検討を求めました。

市「直通バス増便を西鉄に要望する」